

令和6年度事業計画

社会福祉法人琥珀会

特別養護老人ホームこはく苑

【ユニット型・地域密着型】

【空床型短期入所生活介護】

デイサービスセンターきんぎょ

【認知症対応型通所介護】

【介護予防認知症対応型通所介護】

デイサービスセンターわが家

デイサービスセンターおらホーム

デイサービスセンターなごみ

【地域密着型通所介護】

【第1号通所事業】

久慈市交流促進センター

(新山根温泉べっぴんの湯)

【指定管理】

法人基本理念

1 思いやりのこころ

- ・ 地域に根差し公平・公正且つ安定したサービスを通じ、社会貢献に努めます。

2 健全な経営

- ・ 開かれた施設として、安全で安心してご利用いただける運営に努めます。

3 職員の幸せ

- ・ 私たちは、琥珀会の発展を通じて、
職員の幸せを築きます。

社会福祉法人琥珀会【倫理綱領】

社会福祉法人琥珀会は、サービスを提供するにあたっての基本的な心構えとして、次のとおり倫理綱領を定め、私たちの規範とします。

〔1〕 個人の尊厳

私たちは、利用者一人ひとりをかけがえのない存在として認め、その人らしい人生を大切にします。

〔2〕 人権の擁護

私たちは、利用者一人ひとりの人間としての基本的な権利を守り、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さないことを誓います。

〔3〕 個性、主体性の尊重

私たちは、利用者一人ひとりの個性や主体性を尊重し、利用者本位の自己決定を基本とした支援と、利用者の最善の利益を図ることに心がけます。

〔4〕 社会参加の促進

私たちは、利用者一人ひとりが、社会の一員として市民生活が送れるよう支援します。

〔5〕 生活環境の整備

私たちは、利用者一人ひとりが、生活者として快適な日々を過ごせるよう最もふさわしい生活の場として、施設及び周辺環境の整備に努めます。

〔6〕 豊かな地域生活へ

私たちは、地域で生活する高齢者が、豊かな市民生活を送れるよう一人ひとりのニーズに添った支援と、地域において利用者が健康で安全な生活に必要な基本的な習慣や態度を養うことができるよう支援に心がけます。

〔7〕 職員として

私たちは、福祉施設職員としての専門的役割と使命を自覚し、利用者一人ひとりに適切な支援が提供できるよう常に自らへの問いかけを怠らず、研鑽と人間的成長に努めます。

令和6年度社会福祉法人琥珀会事業計画

I 基本方針

琥珀会は法人の基本理念に基づき、入居者・利用者はもとより地域の方々一人ひとりの生き方が尊重される日常生活を支援し、安心かつ満足して暮らしていただくことの出来る地域拠点としての施設運営を目指します。本年度はデイサービスセンター「わが家」「おらホーム」の定員が10から18へ変更となりますので、より地域に根差した介護を展開していきたいと考えます。

そして、地域の方々と共に手を取り合い行事開催していきたいと思えます。

II 実施事業

- ① 第一種社会福祉事業
 - ・ 特別養護老人ホームの経営
 - 特別養護老人ホームこはく苑
- ② 第二種社会福祉事業
 - ・ 老人デイサービス事業の経営
 - デイサービスセンターわが家
 - デイサービスセンターきんぎょ
 - デイサービスセンターおらホーム
 - デイサービスセンターなごみ
 - ・ 短期入所事業の経営
 - 空床利用特別養護老人ホームこはく苑
- ③ 収益事業
 - ・ 久慈市交流促進センター「新山根温泉べっぴんの湯」

Ⅲ 重点目標

- ① 介護分野への介護未経験者の参入促進・確保
- ② 地域における公益的な取組の推進

Ⅳ 運営目標

○法人本部

◎2 拠点地域との交流の促進する催事等の企画運営。

○こはく苑拠点

1 こはく苑

(1) うさぎユニット

① R5 反省

○職員間の「報告・連絡・相談」を徹底する。わからない、聞いていないをなくしていきたい。

・申し送りや報連相はほぼできていたと思うが、実習生への日本語の配慮が足りなかった。わかりやすく伝えていく必要がある。

② R6 目標

○居室の整理整頓

・おむつなど見えないように整理する。

・季節に合わせてタンスの整理をする。衣類等の名前確認、書いてないものには名前を書く。

(2) かめユニット

① R5 反省

○細かいことまで情報共有する

・申し送りに記入することを忘れることがあった。

・口頭で細かいことを情報共有することができた。

○水分補給する。

・ほぼ1日1,000～1,500ml 摂取することができた。

・利用者様の好みの物をいろいろ試し提供することができた。

② R6 目標

○整容、清潔保持に取り組む。

・個々の口腔ケア方法を共有し、口腔内の状態を確認しながら対応していく。

- ・爪を定期的に切り、医務への依頼が必要な方も確認し、医務に伝え対応してもらい清潔保持していく。
- ・リネン交換はチェック表を作成し、定期的に行うことができているかを見えるかしていく。
- コミュニケーションをとりあう。
- ・入居者様とのコミュニケーションをとることで、より暮らしの継続に繋げる。
- ・職員と情報共有しあうことで、ケアの統一をしていく。

(3) ひよこユニット

① R5 反省

- 入居者様の意向に沿ったケアを職員が統一して行う。
- ・ケアの変更時申し送りが全職員にできず出だしが遅れることがあったが、概ねできた。
- ・ユニット会議が以前よりは開催できたが、毎月は出来ずケアについて職員揃って話し合いが出来なかった。
- ・日々の業務の中でコミュニケーションをとりながらケアができた。

② R6 目標

- 入居者様に沿った個別ケアを心掛ける。
- アクシデントの防止
- 毎月ユニット会議の開催

(4) 栄養課

① R5 反省

- 嗜好調査や聴き取り等により、利用者様の希望に合うように工夫する
- ・嗜好調査を行いリクエストメニューを提供することは出来たが、毎月は出来なかった。
- 献立の幅を拡げる。
- ・少しずつではあるが、新しいメニューを取り入れることができた。
- よりよい食環境を提供できるよう日常的な情報交換、共有の徹底を行う。
- ・日々の情報共有や申し送り等は行うことができた。

② R6 目標

- ユニット型を有効に活用した食事提供を定期的に行う。
- 日々の作業時の衛生チェック等、衛生管理の徹底を行う。

(5) 介護支援専門員

① R5 反省

○部屋から出てこない入居者様の顔を 1 日に 1 回は見て名前を呼ぶ。

・毎日 1 回は出来なかった。その時に何か問題がある利用者様に関わる時間はしっかり確保できたが、落ち着いている利用者様に関わる時間をうまく作ることができなかった。

○回数に制限なく、必要時にケアマネ会議、ケアプランについての会議を開催する。

・会議として話し合いは出来なかったが、問題が起き、利用者様に変化があった都度相談することができている。

○モニタリング会議に家族または本人に出席していただく。

・感染症流行の為、面会制限を設けておりご家族様を呼ぶことができていない。ただし、電話や来苑時にご家族の意向を確認し、ケアプランへ反映することや、こはく苑での様子などについて都度報告し相談している。ケアプランの内容についても同意を得ている。また、ご本人様へのアセスメントも行い、ケアプランへ反映し多職種のモニタリング会議等で情報共有している。

○月に 1 度相談員・ユニット職員と連携を取り、家族様に写真入りのお便りを送る

・ご家族様より、「手紙が来ると安心する」「頂いた写真を何枚もコピーして遠方にいる家族へ送ったりしている」「自宅で額に入れて飾っている」等の意見をいただいている。

② R6 目標

○一人一人の利用者様の良い状態の時を把握する。

○回数に関係なく、必要時にケアマネ会議、ケアプランについての会議を開催する。

○モニタリング会議に家族又は本人に出席していただく。

○月に 1 度ご家族様に写真入りのお便りを送る。

2 わが家

① R5 反省

○利用者様が可能な限り自宅で自立した日常生活が送ることができるよう、利用者様の QOL の向上を目指す。

○職員の介護力の向上を図る。

・職員の異動や休職があり、利用者様の把握や介護力の向上につな

がりづらかった。

○多職種との連携を図る。

- ・看護師・栄養課と連携し業務を行うことができた。

② R6 目標

○利用者様へのケアの統一を図る。

- ・職員間で情報の把握と共有をし、どの職員が行っても共通のケアができるようにする。

○職員間の連携を図る。

- ・定員増の為、より一層の連携が必要になる。職員間の声掛けなどでチームワークを向上させる。

3 きんぎょ

① R5 反省

○稼働率 60%を目指す

- ・稼働率 60%の目標達成ができた。

○利用者様の安全と安心を最優先とする

- ・利用者の安心のため、個別対応の際（送迎時や入浴時）、重点的に傾聴するよう心掛けた。安心の面では、アクシデントが多かったが、情報の共有と再発防止のためその都度職員会議で話し合った。

② R6 目標

○稼働率 60%を維持する。

○利用者が過ごしやすい環境づくり。働きやすい職場づくり。

○ご家族様の介護負担軽減。

◎実施計画

- ・情報発信の継続（インスタ等）と介護支援専門員やご家族様との情報共有と、良好な関係性づくりを行う。

- ・利用者様が過ごしやすいような環境づくり。話しやすい関係性の構築。職員が働きやすいような職場づくり。相談しやすい関係性づくりに努める。

- ・送迎時や連絡帳でのアドバイスのほか、ご家族様の変化に気づき、介護支援専門員へつなぐ。利用時間や利用日、曜日変更等の要望があった際は、可能な限り対応できるように検討していく。

4 おらホーム

① R5 反省

○基本理念に近づけるように努力し、知識を深めていく。

- ・研修等に参加し、知識・技術の向上に努めた。
- レクリエーション充実により利用者様家族との行事を楽しみ季節を感じ一年間活動できるよう努力していく。
- ・レクは体操の充実を図ることで、利用者増につながったと感じる。

② R6 目標

- 介護理念に沿って、運営に努める。
- レクリエーション充実により利用者様家族との行事を楽しみ季節を感じ一年間活動できるよう努力していく。(継続)

5 なごみ

① R5 反省

- 支持される前に自分から進んで行動に移す。
- ・持ち場の仕事を終えた後、周りに気配りし、自ら進んで動けるようになった。
- 何回も同じことを注意されないようにする。
- ・事前に担当の仕事をチェックし、時間を気にしながら行動することで注意を受けることが減った。原因に注意力不足が多かったため、広く目配りできるようにしていく。

② R6 目標

- 勤務時間内に仕事が終了する。
 - ・仕事の優先順位を把握する。
 - ・1日のスケジュールを決める。
 - ・利用者が少ない日は、普段滞っている仕事に取り組む。
- 新規利用者の獲得
 - ・居宅介護事業所や地域包括支援センターへ空き状況を報告する。褥瘡処置や経管栄養、多少の医療的ケアに対応可能であることを伝達する。
- ・SNS を利用し、情報発信に努める。

6 久慈市交流促進センター（べっぴんの湯）

① R5 反省

- 接客、食事などのサービス品質はおおむね高い評価を受けている。
- 大浴場の清潔感に対するクレームが時折あった。
- 宿泊利用者数の季節変動が大きく、客室稼働率が低下した。

② R6 目標

- 清掃の徹底により清潔を保ち、利用者が快適に過ごせる施設づく

りを目指す。

○日帰り利用者 1 日平均 160 人を目指す。

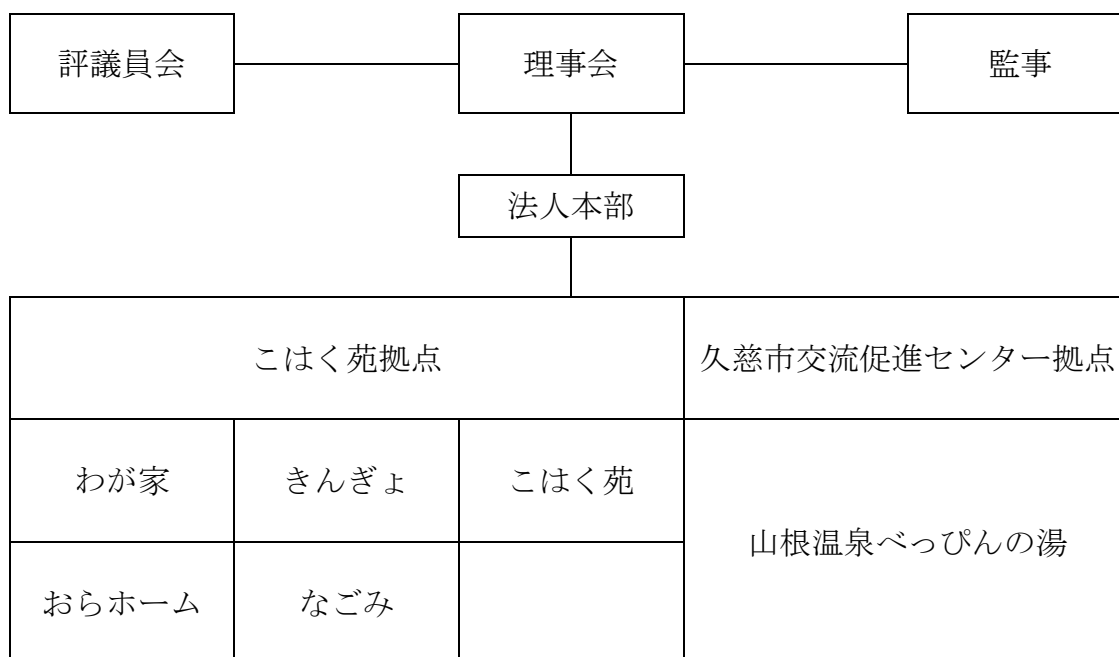
○メニューなど顧客ニーズの把握に努め、食堂売り上げ向上を目指す。

V 社会福祉法人琥珀会概要

1 法人役員及び評議員の構成（令和6年3月1日現在）

役職名	氏名	職業	役員要件	任期
理事長	田代誠	法人職員	適正な運営に必要な識見 を有する者 (社会福祉事業経営者)	R7年度定時評議員会の終 結の時まで
理事	八重櫻友夫	市議会議員	学識経験者 (社会福祉事業経験者)	同上
理事	宇部一男	会社役員	地域の福祉関係者 (〈特非〉役員等)	同上
理事	久慈正俊	会社役員	学識経験者 (専門知識を有する者)	同上
理事	萩生田正昭	法人職員	事業所管理者	同上
理事	石川直江	法人職員	事業所管理者	同上
監事	高山道好	無職	学識経験者 (社会福祉関係の行政従 事経験者)	同上
監事	大家武夫	団体役員	地域の福祉関係者 (〈社福〉役員等)	同上
評議員	水上虎雄	自営	—	R7年度定時評議員会の終 結の時まで
評議員	関上由美子	会社役員	—	同上
評議員	岩城元	会社役員	—	同上
評議員	萩生田さと子	自営	—	同上
評議員	佐藤勝也	会社役員	—	同上
評議員	千葉和博	会社役員	—	同上
評議員	米澤豊	自営	—	同上

2 法人組織図



3 法人理事会及び評議員会開催計画

予定会議名	予定議案	予定開催月
令和6年度第1回理事会	令和5年度決算 令和5年度事業報告	令和6年5月
令和6年度定時評議員会	令和5年度決算承認	令和6年6月
令和6年度第2回理事会	令和6年度補正予算 (第1次)	令和6年9月下旬
令和6年度第3回理事会	未定	令和6年12月上旬
令和6年度第4回理事会	令和6年度補正予算 (第2次) 令和7年度事業計画 令和7年度予算	令和7年3月下旬

VI 施設の概要

特別養護老人ホームこはく苑・こはく苑ショートステイの概要

所在地 岩手県久慈市小久慈町第19地割118番地1

☎0194-53-3600 Fax0194-53-3614

定員 29名（うち8床が空床利用型短期入所生活介護）

ユニット数 3ユニット

1ユニット10名

2ユニット10名

3ユニット9名 合計29名定員

職員配置状況

職	人員	職	人員
苑長（管理者）（兼）	1	看護職員	3
		機能訓練指導員（兼）	1
事務員	2	栄養士	1
生活相談員（兼）	3	調理師	2
介護支援専門員	3	調理員	1
ユニットリーダー（兼）	3	嘱託医（内科1・歯科1）	2
介護職員	16	日・宿直	4

令和5年3月1日現員 38名

デイサービスセンターわが家の概要（特養併設）

所在地 岩手県久慈市小久慈町第19地割103番地3

事業 地域密着型通所介護/第1号通所事業

定員 18名

職員配置状況

職	人員	職	人員
施設長（管理者）（兼）	1	看護職員（併設兼務）	1
		機能訓練指導員（兼）	1
事務員	1	調理師	0
生活相談員（兼）	2	運転士	1
介護職員（兼）	3		

令和5年3月1日現員 6名

デイサービスセンターきんぎょの概要

所在地 岩手県久慈市小久慈町第 18 地割 4 番地 11

☎0194-53-3600 Fax0194-53-3614

事業 地域密着型（介護予防）認知症対応型通所介護

定員 12 名

職員配置状況

職	人員	職	人員
事業所長（管理者）（兼）	1	看護職員（兼）	1
生活相談員（兼）	2	機能訓練指導員（兼）	1
介護職員	3		
介護職員（兼）	1	運転士（兼）	1

令和 6 年 3 月 1 日現員 6 名

デイサービスセンターおらホームの概要

所在地 岩手県久慈市小久慈町第 18 地割 3 番地 2

☎0194-52-2600 (Fax 兼)

事業 地域密着型通所介護/第 1 号通所事業

定員 18 名

職員配置状況

職	人員	職	人員
事業所長（管理者）（兼）	1	看護職員（兼）	1
生活相談員（兼）	2	機能訓練指導員（兼）	1
介護職員	3	調理師（兼）	2
介護職員（兼）	4	運転士（兼）	2

令和 6 年 3 月 1 日現員 9 名

デイサービスセンターなごみの概要

所在地 岩手県久慈市長内町第 21 地割 2 番地

☎0194-53-5225 (Fax 兼)

事業 地域密着型通所介護/第 1 号通所事業

定員 10 名

職員配置状況

職	人員	職	人員
事業所長（管理者）（兼）	1	看護職員（兼）	1
生活相談員（兼）	2	機能訓練指導員（兼）	1
介護職員	3		
介護職員（兼）	2	運転士	1

令和 6 年 3 月 1 日現員 7 名

久慈市交流促進センターの概要

(山根温泉べっぴんの湯)

所在地 岩手県久慈市山根町下戸鎖第4地割5-1

☎0194-57-2222 Fax0194-57-2225

事業 指定管理

設備状況 宿泊9室 大浴場2 露天風呂2 小浴場2

伝習棟 産直コーナー

職員配置状況

職	人員	職	人員
総支配人	1	総料理長	1
事務長	1	料理長	1
アテンド	6	ホール	1
産直S V	1	調理師	4
環境整備	4		

令和6年3月1日現員 20名

VII 年間行事計画

月	行事	月	行事
4月	花見・救命講習	10月	避難訓練
5月	避難訓練	11月	歯科検診・予防接種
6月	買い物レク	12月	クリスマス会
7月	共催夏祭り・健康診断	1月	小正月
8月	七夕	2月	節分・特定検診
9月	敬老会・秋祭り見学	3月	ひな祭り

※各ユニット・事業所でも行事開催

VIII 年間研修計画

認知症リーダー研修	× 2名
認知症研修	全職員
医療的ケア（喀痰、胃瘻等）	× 2名
介護支援専門員新規講習	× 1名
身体拘束研修	全職員
虐待防止研修	全職員
BCP 実施訓練（感染症・災害）	全職員
救命講習	全職員